

令和5年度 第1回総合型クラブサミット

開催期日：令和5年5月26日（金）

開催場所：秋田県スポーツ科学センター

〔実践報告〕

「 休日の部活動の段階的な地域移行 」

講師：大館市教育委員会 学校教育課長補佐 工藤 貴胤 氏



第1回総合型クラブサミットが5月26日（金）に行われました。県内の総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）関係者をはじめ、各市町村スポーツ主管課関係者、各市町村スポーツ推進委員、各市町村スポーツ・体育協会関係者、大学関係者等、多数参加していただきました。

実践報告は、大館市教育委員会学校教育課長補佐工藤貴胤氏より、令和4年度から関係機関と連携して取り組んでいる、同市の中学校運動部活動の移行状況についてのお話を伺いました。地域の行政が主体となり、関係機関が連携して実践している地域移行活動について、大館市教育委員会として得られた成果と課題、そして生徒の活動環境を確保するために必要なことなどを、事例を挙げ発表をしていただきました。

参加者からは、「大館市の中学校部活動地域移行への取組から、学校、行政とスポーツ協会の連携がとても大事だということが分かった。」「自分の地域では、まだ検討中なので、大館市の取組を検討委員会で情報共有させていただきます。」などの声が聞かれました。



〔情報提供〕

「 東北ブロッククラブネットワークアクション2022から 」

講師：公認アシスタントマネジャー 高橋敬子 氏

情報提供は、昨年度岩手県で行われた「東北ブロックネットワークアクション2022」で、紹介された中学校部活動地域移行に関して他県での取り組み情報を、公認アシスタントマネジャーの高橋敬子氏から提供していただきました。

他県の地域移行の在り方や関連情報、現在の秋田県の部活動地域移行の話題を取り上げた資料等で、参加者にとってよい情報収集の場となりました。

参加者からは、「2022の資料がとても参考になった。」「他県の事例は、これまで全く知る機会が無かったので大変参考になった。」などの声が聞かれました。



〔情報交換〕

「 クラブ事業の現状と課題について 」

グループ研修会



午前の最後は、行政の方と総合型クラブに分かれて情報交換しました。テーマ「《総合型クラブ》・クラブの現状と課題・中学生部活動地域移行について・その他、《行政関係》総合型クラブとの関係について・中学生部活動地域移行について・その他」について話し合いをしました。

参加者からは、「委託、受け皿になっている団体の悩みを聞くことができた。現役学生からの生の声を聞くことができた。」「普段お目にかかる機会が無い地域の方の話が聞けて良かった。」「交流もでき、連絡先も知ることができたので、何かあった際に協力等お願いしたいと思う。」などの声が聞かれました。

〔実技〕

「 秋田県発祥のニュースポーツを楽しもう ～8人制バレーボール～」

講師：秋田県8人制バレーボール連盟

副会長 佐々木 育子 氏
副会長 水戸瀬 由美子 氏

午後は、秋田県発祥のニュースポーツ「8人制バレーボール」にチャレンジしました。前衛4人後衛4人で、秋田県スポーツ推進委員協議会推薦のビニールバレーボールで行う競技です。

はじめにルール説明があり、その後は4グループに分かれ交流戦（リーグ戦）を楽しみました。そのうちの1つのグループは、グリーン健康倶楽部の皆さんを中心に結成しました。チーム「グリーン健康倶楽部」は、普段定期的に運動している効果もあり他のチームを圧倒していました。

参加者からは、「詳細なルールなどは知らなかったので、良い機会だった。」「初めて体験したが、とてもおもしろかった。年齢・性別問わず、いろいろな人が楽しめるスポーツだと実感した。」などの声が聞かれました。

秋田県発祥の8人制バレーボールの特性を味わうと共に、身体を動かす爽快感を感じることができ、充実した時間となりました。



皆様のおかげでたくさんの交流ができ、有意義なサミットにすることができました。本当にありがとうございました。